

【同窓会だより】

「36 回生同窓会報告」

念願の、京都医療科学大学開学おめでとうございます。

当日、平成 19 年度 5 月 26 日(土)、母校学友会総会・懇親会の後を受けて、36 回生同窓会を、同じ京都市内の「ハートンホテル」で開催。

山田勝彦先生をお招きして 16 人が顔を並べました。学友会懇親会のあとなので、全く二次会のようなものでした。

山田勝彦先生をお迎えしてまずは「乾杯」。その後はお互いの近況ばかりでなく、未参加学友の近況もお互い報告しあいました。お孫さん方の結婚式への出席とか、体調を崩したため欠席とか、また、音信不通の友などなど、話題が変わるたびに一喜一憂の夜でもありました。

次の同窓会は、すでに伊勢・志摩に決められており、幹事の瀬戸恭子さんから、テープに吹き込まれた、“甘～い、誘惑？のメッセージ”が紹介され、酔眼の友はローレライもどきの彼女の美声に忽ち魅せられて、勿論、全員参加の誓いをテープに吹き込んだのでありました。

翌日、世界遺産に登録されている二条城を見学し、昼食を二条城の南に隣接した由緒ある「神泉苑」：元は、平安京大内裏に接して造営された禁苑(天皇のための庭園を禁苑という)とか。で、ビールを友としての楽しい昼食会となりました。

翌月曜日には瀬田ゴルフ場で楽しむ、という別口同窓会？に設定されているとの話もありましたので、人生の余禄を楽しむにはもってこいの快晴を祈ってお開きと相成りました。

過ぎし日を語り合う日の若葉かな けい介

(出席者：山田勝彦先生、織田倉忠、高木一、立川昇、菅原敬久、富田博夫、西田秀昭、前田和平、松添英典、村田幹夫、山崎真義、吉村正巳、湯ノ口武司、鷲頭徹、秋田稔、金尾啓右、佐野晃誠)

(佐野 記)

以上

* 通巻 185 号 2007 年 10 月 1 日発行(H19-No.3)より